

コスメティックサイエンス学環におけるキャリアガイダンスの実施方法及び教育・指導内容

コスメティックサイエンス学環は、本学環の学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うことを目的として、以下の実施方法及び教育・指導内容をもって、キャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）を実施する。

1. 実施方法

- ① 本学環のキャリアガイダンスは、下表の段階ごとに正課教育と正課外教育及び指導に区分した教育・指導内容をもって実施する。
- ② キャリアガイダンスの教育・指導は、運営会議を中心に計画・実施・改善を行う。
- ③ 正課教育は、教育委員を中心に、運営会議が教育目的に応じて立案し実行する。
- ④ 正課外教育及び指導は、就職委員を中心に、運営会議が教育目的に応じて立案・実行する。
- ⑤ 各年次にチューターを配置し、各学生の履修した教育・指導内容を確認しつつ、指導を行う。
- ⑥ 各教員は、ウェルビーイング創造センターの協力の下に、学生のキャリア形成に資するよう、教育内容の改善・充実に努める。

2. 教育・指導内容

下記に示すキャリアガイダンスを実施する。

段階	正課教育	正課外教育及び指導
I	<p>○1年次前学期科目の「大学入門科目Ⅰ」において、ゲストスピーカーとして自治体・企業など学外から講師を招き、キャリアデザインにつながる講義を行う。</p> <p>○1年次前学期科目の「コスメティックサイエンス概論」において、ゲストスピーカーとして自治体・企業など学外から講師を招き、キャリア教育を実施する。</p>	<p>○4月実施の新入生オリエンテーションにおいて、アンケートを実施する。</p> <p>○PROGテスト実施し、特性を把握させる。</p>
II	<p>○1年次前学期科目の「コスメティックサイエンス概論」において、ゲストスピーカーを招き、専門知識の社会的な意義を意識させる。</p> <p>○1年次後学期科目の「コスメティックサイエンスPBL」において、化粧品提案のための調査研究および化粧品の調製・評価を行い、研究開発の基礎を実体験させる。</p>	<p>○前学期および後学期のチューター面談の機会に、資格取得や研究開発職の業務内容に関する進路指導を行う。</p>
III	<p>次年度以降、2年次以降科目で実施する。</p>	<p>次年度以降、2年次以降科目で実施する。</p>